

市民交流プラザ事業部



© kenzo kosuge

札幌市民交流プラザ開館5周年事業 2023グランドオペラフェスティバル
in Japan 東京二期会オペラ「ドン・カルロ」《新制作》
令和5年10月7日(土)、8日(日)

市民交流プラザ事業部

事業体系

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次により行った。

事業体系

市民交流プラザ事業部

管理運営事業 — 貸館事業、施設の維持管理等

主催事業

- 1 札幌文化芸術劇場に関する事業
 - (1) 創造事業
 - (2) 鑑賞事業
 - (3) 普及・育成事業
 - (4) 交流事業
 - (5) 舞台技術向上への取組
- 2 札幌文化芸術交流センターに関する事業
 - (1) 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業
 - (2) 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業
- 3 広報・利用促進に関する事業

管理運営事業

○札幌市民交流プラザ利用状況

			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
札幌文化芸術劇場	劇場	利用率	79.9%	87.7%	92.4%
		利用料金収入	160,237,470円	181,079,760円	196,633,370円
	クリエイティブ スタジオ	利用率	71.2%	86.0%	93.5%
		利用料金収入	17,740,240円	19,927,890円	27,502,610円
	練習室等	利用率	59.7%	73.5%	85.9%
		利用料金収入	7,801,350円	11,133,750円	13,570,360円
札幌文化芸術交流センター		利用率	63.3%	76.9%	87.9%
(SCARTSコート,SCARTSスタジオ,SCARTSモール等)		利用料金収入	7,810,550円	16,201,800円	20,656,000円
利用料金収入合計			193,589,610円	228,343,200円	258,362,340円
総入場者数			285,686人	481,099人	698,691人
総来館者数（札幌市図書・情報館含む）			752,003人	1,196,687人	1,523,758人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和3年5月9日～7月11日、8月2日～9月30日は新規予約受付停止。

※利用料金収入には、利用取消手数料収入を含まない。

【参考】

令和3年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール（1,000席以上）：47.5% 小ホール（500席未満）：52.3%

（出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和4年度 公立文化施設の運営情報調査報告書」）

主 催 事 業

札幌文化芸術劇場に関する事業

1 創造事業

道内初の多面舞台を備えたホールの機能を活用し、国内の劇場や地元芸術団体との共同制作など「創造の場」として、札幌発のオペラやバレエ等の舞台芸術を展開し、市民が質の高い文化芸術に触れる機会を提供した。

①hitaru バレエプロジェクト

「くるみ割り人形」(全幕)

新規

札幌文化芸術劇場 hitaru が地元のバレエ団体、実演芸術家などの協力を得てバレエ作品を創造・発信する「hitaru バレエプロジェクト」。その第一回公演として、「くるみ割り人形」(全幕)を新制作にて上演した。オーディションで選ばれた北海道のダンサーと、パリ・オペラ座エトワールをはじめとした国内外のトップクラスのゲストダンサーを迎え、雪のまち札幌にふさわしい「くるみ割り人形」を創りあげた。また、来場者が「くるみ割り人形」の世界を楽しめるようクリスマスツリーやフォトスポットを設置した。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和5年12月9日(土) ①開演13:45
9日(土) ②開演18:30
10日(日) ③開演13:45

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

協力団体：We Love Ballet 実行委員会、札幌舞踊会、
ドリーム オブ ダンサーズ、公益社団法人日
本バレエ協会北海道支部

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

演出振付：千田雅子(札幌舞踊会)

出 演：河合尚市(指揮)

富田実里(特別協力)

佐々木麻菜/アマンディーン・アルビッソン

/上野水香(魔法の国の女王)

厚地康雄/マルク・モロー ※オードリック・
ブザールから変更(魔法の国の王)

山田優七/鳴海絆菜(クララ)

山本隆之(ドロッセルマイヤー)

西島勇人(くるみ割り人形)

遅沢佑介(雪の王)

ほか

札幌交響楽団(管弦楽)

入場料：全席指定 S席 11,000円、A席 8,000円、
B席 6,000円、C席 4,000円、D席 3,000円
U25 各席2,000円引き

パーシャル・ビュー S席 10,000円

パーシャル・ビュー A席 7,000円

パーシャル・ビュー C席 3,000円

パーシャル・ビュー D席 2,000円

パーシャル・ビュー U25 各席2,000円引き

(S、A席のみ)

入場者数：①1,832人 ②1,904人 ③1,910人

<関連事業>

「くるみ割り人形」特別フェア

新規

hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」の開催にあわせ、ゲストダンサーのインタビュー動画上映やフォトスポットの設置などを行った。



期 日：令和5年11月28日(火)～12月7日(木)

会 場：SCARTS モール A・B

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

市民交流プラザ事業部

主催事業

入場料：無料

<配信事業>【有料アーカイブ配信】 hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」

新規

令和5年12月9日（土）、10日（日）開催、hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」をHTB on ライン劇場にて有料アーカイブ配信した。（配信は12月9日昼公演）



配信日時：令和5年12月23日（土）
～令和6年2月29日（木）
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
映像制作：北海道テレビ放送株式会社
視聴料金：2,000円
視聴人数：738人

②Creative Art Mix Vol.2 ～Classical Jewels～

クラシックの名曲を様々なアレンジにより演奏し、現代的センスのダンス、映像と合わせてお届けする「Creative Art Mix」シリーズの第二弾。出演者からスタッフまで全メンバー地元の人材を起用し、1年間の制作期間により創り上げた舞台芸術作品を上演した。

期 日：令和6年3月9日（土）①開演15:00
9日（土）②開演19:00
10日（日）③開演15:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）



撮影：Keigo Sadahisa (doppietta)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
出 演：小野健悟（作曲・編曲／サックス・ウインドシンセ）
DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST（編曲／DJ）
倉岡陽都美（ソプラノ）
郷翠（クラシックバレエ）
西野留以（ストリートダンス）
鈴木明倫（コンテンポラリーダンス）
髪立ツカサ（舞踏）
岡本育美（サックス）
金澤緋彩（トランペット）
長谷川加奈（ヴァイオリン）
荒川剛（ギター）
林佳一郎（キーボード）
青木務（ベース）
酒井颯太（ドラム）
Dance Studio mind（舞人）

プログラム：ベートーヴェン ピアノ・ソナタ

第14番「月光」より第3楽章

<ROCK>

ラヴェル「ボレロ」<TECHNO>

ラフマニノフ「ヴォカリーズ」

<R&B/SOUL>

チャイコフスキー バレエ『白鳥の湖』

メドレー

<FUSION/CLASSICAL/ROCK>

モーツァルト オペラ『フィガロの結婚』より「楽しい思い出はどこへ」

<ELECTRO/JAZZ>

ホルスト 組曲「惑星」より「木星」

<JAZZ>

レオンカヴァッロ オペラ『道化師』

より「衣装をつけろ」<METAL>

チャイコフスキー バレエ『くるみ割り人形』

メドレー（ロシアの踊り、花のワルツ 他）

<TECHNO/JAZZ>

オッフェンバック オペレッタ『天国と地獄』

より序曲<HIP HOP>

ドリーブ オペラ『ラクメ』より「花の二重唱」<POP>

ショパン「革命のエチュード」<ROCK>

メドレー（ショパン「幻想即興曲」、モーツァルト ピアノ・ソナタ 第11番「トルコ行進曲」、ヴィヴァルディ ヴァイオリン協奏曲「四季」より冬、パッヘルベル「カノン」）

<CLUB JAZZ>

ベートーヴェン 交響曲 第9番「合唱付き」

より第4楽章<R&B/SOUL>

ドヴォルジャーク 交響曲 第9番

「新世界より」より第4楽章<METAL>

入場料：全席自由 一般 2,500円、U25 1,000円

入場者数：①142人 ②144人 ③149人

<関連事業>

Creative Art Mix Dance Workshop

Vol.2 2023

ダンスの楽しさや、ジャンルごとの違い、地元のアーティスト、公演への興味を持ってもらうことを目的に、本プロジェクトの出演ダンサーを講師に迎え、幅広いジャンルのダンスを初心者や子どもでも気軽に参加できるワークショップを開催した。



期 日：令和5年7月31日（月）～8月2日（水）

7月31日（月）①ヒップホップ 開始18:00

8月1日（火）②バレエ 開始18:00

8月1日（火）③コンテンポラリー 開始20:00

8月2日（水）④舞踏 開始17:30

8月2日（水）⑤ジャズ 開始20:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

講 師：①西野留以 ②郷翠 ③鈴木明倫

④髪立ツカサ ⑤YUKA

参加料：500円

参加者数：①20人 ②14人 ③16人 ④9人 ⑤18人

市民交流プラザ事業部

主催事業

<関連事業>

ステージラボ札幌セッション・共通プログラム Creative Art Mix 特別企画 コンテンポラリーダンスワークショップ

令和5年7月4日から7日まで開催されたステージラボ札幌セッションにて、札幌文化芸術劇場 hitaru 主催事業「Creative Art Mix」の取り組みの紹介と出演ダンサーによるコンテンポラリーダンスワークショップをバンドの生演奏と共に実施し、成果発表を行った。

期 日：令和5年7月5日（水）開始17:30

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：高橋秀典（札幌文化芸術劇場 hitaru チーフ
プロデューサー）
鈴木明倫（ダンサー）

バンド演奏：小野健悟（サックス・ウインドシンセ）
DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST (DJ)
岡本育美（サックス）
金澤緋彩（トランペット）
長谷川加奈（ヴァイオリン）
鳴海賢治（ギター）
林佳一郎（ピアノ・キーボード）
青木務（ベース）
酒井颯太（ドラム）

参加者数：47人

③<配信事業>【有料アーカイブ配信】

hitaru オペラプロジェクト

モーツァルト「フィガロの結婚」

令和5年2月26日（日）、28日（火）開催、令和4年度札幌文化芸術劇場主催事業 hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「フィガロの結婚」をHTB on ライン劇場にて有料配信した。



配信日時：令和5年4月28日（金）～7月27日（木）

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

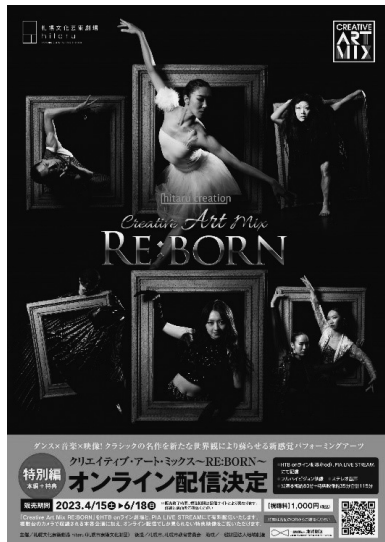
映像制作：北海道テレビ放送株式会社

視聴料金：2,000円

視聴人数：2月26日公演 60人、2月28日公演 40人

④＜配信事業＞【有料アーカイブ配信】
Creative Art Mix ～RE:BORN～
「特別編」

令和5年3月11日（土）、12日（日）開催、令和4年度札幌文化芸術劇場主催事業 Creative Art Mix ～RE:BORN～をHTB on ライン劇場、PIA LIVE STREAMにて有料配信した。



配信日時：令和5年4月15日（土）～6月18日（日）
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
映像制作：北海道テレビ放送株式会社
視聴料金：1,000円
視聴人数：41人

⑤hitaru オペラプロジェクト
モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」
キャストオーディション

令和7年3月7日（金）、9日（日）開催、hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」のキャストの起用にかかり、オーディションを実施した。



期 日：
＜第1次審査＞映像審査 令和5年12月26日（火）
＜第2次審査＞札幌文化芸術劇場 hitaruでの対面審査
令和6年2月17日（土）開始11:30
18日（日）開始11:15
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
協力団体：一般社団法人 北海道二期会、NPO 法人 札幌室内歌劇場、LC アルモニカ、札幌オペラシンガーズ、札幌大谷大学、北海道教育大学
募集キャスト：ドン・ジョヴァンニ、騎士長、
ドンナ・アンナ、ドン・オッターヴィオ、
ドンナ・エルヴィーラ、レポレロ、
マゼット、ツェルリーナ
審査員：園田隆一郎（指揮者）、栗國淳（演出家）、
遠藤広士（札幌市民交流プラザ館長）、
高橋秀典（札幌文化芸術劇場 hitaru チーフプロデューサー）
参加料：無料
応募者数：60人

市民交流プラザ事業部

主催事業

⑥hitaru オペラプロジェクト

「ドン・ジョヴァンニ」関連事業

コレペティトール研修

新規

hitaru オペラプロジェクト「ドン・ジョヴァンニ」に参加予定のコレペティトール及びアシスタントピアニストを対象に研修を実施した。



期 日：令和6年3月23日（土）、24日（日）

3月23日（土）

①園田隆一郎による「ドン・ジョヴァンニ」
レクチャー

②コレペティトール研修 実技①（ピアノのみ）

③コレペティトール研修 実技②（ピアノのみ）

3月24日（日）

④コレペティトール研修 実技③（歌手あり）

⑤コレペティトール研修 実技④（歌手あり）

⑥アボジャトゥーラの取扱いについて（全幕）

⑦マエストロとの交流会

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

講 師：園田隆一郎（指揮者）

受講料：無料

受講者数：3人

聴講料：一般聴講（①のみ聴講可能）1,000円、
hitaru オペラプロジェクト関係者聴講（①～
⑤聴講可能）

一般 2,000円、U25 1,000円

聴講者数：一般聴講 36人

関係者聴講者 26人

2 鑑賞事業

劇場の多面舞台と最新の舞台機能を活かし、国内外トップクラスのオペラ、バレエなど本格的舞台芸術による「鑑賞の場」を多彩な内容で広く市民に提供した。

①新国立劇場オペラ リヒャルト・シュトラウス 「サロメ」全1幕

ドイツ語上演日本語字幕付

新規

後期ロマン派を代表する作曲家R.シュトラウスの衝撃的傑作を、多面舞台を活用し国内トップクラスの実演芸術団体と連携することで、質の高いオペラ作品を上演した。また、札幌大谷大学の千葉潤学長によるレクチャー動画を作成し、作品の見どころ、聴きどころを紹介した。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和5年6月11日（日）開演14:00

13日（火）開演19:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

制 作：新国立劇場

演 出：アウグスト・エファーディング

出 演：コンスタンティン・トリックス（指揮）

アレックス・ベンダ（サロメ）

イアン・ストーリー（ヘロデ）

ジュニファー・ラーモア（ヘロディアス）

青山貴（ヨハナーン）

鈴木准（ナラボート）

加納悦子（ヘロディアスの小姓）

与儀巧（5人のユダヤ人1）

青地英幸（5人のユダヤ人2）

加茂下稔（5人のユダヤ人3）
糸賀修平（5人のユダヤ人4）
畠山茂（5人のユダヤ人5）
北川辰彦（2人のナザレ人1）
秋谷直之（2人のナザレ人2）
金子慧一（2人の兵士1）
大塚博章（2人の兵士2）
大久保光哉（カップパドキア人）
花房英里子（奴隷）
札幌交響楽団（管弦楽）

入場料：全席指定 S席 16,000円、A席 14,000円、
B席 10,000円、C席 8,000円、D席 5,000円、
U25 各席2,000円引き（S席を除く）
入場者数：6月11日 1,155人、6月13日 730人

②hitaruのひととき

市内中心部の地下鉄駅直結という劇場の優れた立地条件を活用し、料金設定をおさえ、親しみやすい選曲により、気軽に実演芸術に触れてもらう機会を提供した。

（1）CLASSIC & JAZZ

SPECIAL NIGHT CONCERT **新規**

各分野の第一線で活躍し、次世代を担う注目の二人が、ジャンルの垣根を超えて音楽の可能性を探る新感覚のコンサートをブルーノート東京との共同プロデュースにより開催した。

各ソロ曲とセッションに加え、この日のために書き下ろされた新曲が披露された他、直筆サインのプレゼント企画やCD販売等も行った。また、出演者二人による対談インタビュー動画を作成し、公演や新曲について紹介した。



撮影：ryoichi kawajiri

期 日：令和5年7月8日（土）開演18:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会
協 力：株式会社ブルーノート・ジャパン
サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
出 演：木嶋真優（ヴァイオリン）
大林武司（ピアノ）

曲 目：1部

M.ファリャ
スペイン舞曲 第1番
C.ドビュッシー
月の光
G.ガーシュウィン
Summertime
G.ガーシュウィン
It Ain't Necessarily So
大林武司
hitaru（新曲初演）

2部

Tea for Two
Skylark
Softly, as in a Morning Sunrise
Save Your Heart
Moon River
My Favorite Things
Limehouse Blues

入場料：全席指定 一般 3,000円、U25 1,500円

入場者数：663人

（2）ひろしま神楽 **新規**

多くの人々に愛されている、高いエンターテインメント性が魅力の「羽佐竹神楽団」を招聘し、多彩な演出や豊かな演劇性を持つ伝統芸能である土蜘蛛や八岐大蛇などの勇壮な神楽を披露した。

神楽の衣裳の特別展示コーナーや衣裳の着付け体験、八岐大蛇のフォトスポット、神楽グッズや安芸高田市・広島県の名産品を販売する物産展を併せて開催し広島の魅力を紹介した。また、神楽への理解を深めるための子ども向けアニメーション動画やレクチャー動画を公開した。

期 日：令和5年10月29日（日）開演14:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

市民交流プラザ事業部

主催事業



撮影：ryoichi kawajiri

後援：札幌市、札幌市教育委員会

協力：安芸高田市、安芸高田神楽協議会、NEXT
ひろしま神楽プロジェクト

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

出演：羽佐竹神楽団

曲目：神降し、葛城山、八岐大蛇

入場料：全席指定 一般 3,000円、U25 1,500円

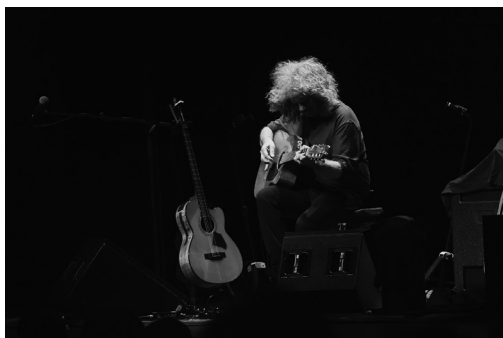
入場者数：979人

（3）hitaruのひととき Premium

Pat Metheny Dream Box Solo Tour

新規

ブルーノート東京との共同プロデュース公演第二弾として、世界のトップギタリストであるパット・メセニーによるコンサートを開催した。2023年にリリースしたソロ・ギター・アルバム「Dream Box」を携えて、5年ぶりの来日公演となる当公演では、新作からのナンバーに加えて過去作の代表曲も演奏されたほか、会場内にてパネル展示やオリジナルグッズ販売も実施した。



撮影：n-foto LLC

期日：令和6年1月14日（日）開演17:00

会場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後援：札幌市、札幌市教育委員会

協力：株式会社ブルーノート・ジャパン、サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

出演：パット・メセニー

曲目：過去曲メドレーほか

入場料：全席指定 一般SS席 8,000円、S席 6,000円、
A席 4,000円、注釈付き指定席 3,000円、
U25 1,500円（対象はS、A席、注釈付き指定席のみ）

入場者数：1,789人

③共催事業の誘致

（1）舞台「キングダム」

新規

累計発行部数1億部突破、アニメ化や実写映画化もされた人気コミック「キングダム」初の舞台化。主人公・信役に三浦宏規、高野洸（Wキャスト）、秦王・嬴政役に小関裕太、牧島輝（Wキャスト）を迎え、全6日間、計9公演上演した。また、札幌がツアー最終地であったため、大千穂楽公演の配信も実施した。

期日：令和5年5月6日（土）～11日（木）

5月6日（土）①開演18:00

7日（日）②開演13:00、③開演18:00

8日（月）④開演18:00

9日（火）⑤開演13:00、⑥開演18:00

10日（水）⑦開演18:00

11日（木）⑧開演13:00、⑨開演18:00

会場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主催：株式会社北海道新聞社、道新スポーツ、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後援：札幌市、札幌市教育委員会

入場料：全席指定 S席 14,500円、A席 11,000円、
B席 6,000円

入場者数：①1,590人 ②1,574人 ③1,201人 ④901人
⑤1,032人 ⑥1,045人 ⑦1,366人
⑧1,413人 ⑨1,488人

(2) 第四回さっぽろ落語まつり

開館より継続して開催しているさっぽろ落語まつりの第4回公演。東西人気落語家が札幌に集結し、札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホールの2会場で3日間、計12公演開催。

期 日：令和5年5月26日（金）～28日（日）

5月26日（金）①開演13:00 ②開演17:30

27日（土）③開演11:00 ④開演15:30

28日（日）⑤開演11:00 ⑥開演15:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

特別協賛：生活協同組合コープさっぽろ共済推進室

協 力：株式会社オフィスまめかな

入場料：全席指定 前売 4,600円、当日 5,000円

入場者数：①892人 ②1,339人 ③581人 ④995人

⑤625人 ⑥801人

(3) ミュージカル『クレイジー・フォー・ユー』

新規

1993年に日本初上陸して以降、各地で好評を博してきた劇団四季の代表的レパートリーを2日間にわたって、計2公演上演した。

期 日：令和5年10月26日（木）、27日（金）

10月26日（木）①開演18:30

27日（金）②開演13:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、四季株式会社（劇団四季）

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

企画協賛：ホクレン農業協同組合連合会、株式会社北洋銀行

協 力：JR北海道

入場料：全席指定 S席 10,000円、A席 8,000円、サイドA席 8,000円、B席 5,000円

入場者数：①1,854人 ②1,955人

(4) 2023 HTB ジルベスターコンサート

1997年にスタートした歴史あるコンサートの第26回公演。ゲストにサクソフォン奏者の上野耕平、北海道出身の打楽器奏者 石若駿、札幌出身のソプラノ歌手 川島沙耶を迎え、札幌交響楽団の演奏で開催した。

期 日：令和5年12月31日（日）開演17:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：北海道テレビ放送株式会社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

特別協賛：株式会社アミノアップ

協 賛：北海道ポラコン株式会社、株式会社オカムラ、チュウケイ株式会社、有限会社イエローブルー

特別協力：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、公益財団法人札幌交響楽団

協 力：日本航空株式会社

入場料：全席指定 プラチナ席 10,000円、

SS席 7,000円、S席 6,000円、A席 5,000円、

B席 4,000円、中学生以下（A席、B席）500円

入場者数：1,437人

(5) ミュージカル「ジョジョの奇妙な冒険 ファントムブラッド」

新規

累計発行部数1億2,000万部を誇る荒木飛呂彦の大人気コミックシリーズを初のミュージカル化。主人公・ジョナサン・ジョースター役に松下優也、有澤樟太郎（Wキャスト）、宿敵・ディオ・ブランドー役に人気声優としても活躍する宮野真守を迎え、全5日間、計7公演上演した。

期 日：令和6年3月26日（火）～30日（土）

3月26日（火）①開演18:00

27日（水）②開演13:00、③開演18:00

28日（木）④開演13:00

29日（金）⑤開演13:00、⑥開演18:00

30日（土）⑦開演12:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

市民交流プラザ事業部

主催事業

入場料：全席指定 S席 15,500円、A席 12,000円、
B席 7,000円

入場者数：①1,035人 ②1,010人 ③944人 ④1,015人
⑤895人 ⑥1,143人 ⑦1,932人

3 普及・育成事業

先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化作品の提供と、魅力的で芸術性の高い参加型事業を展開した。

①青少年向けバレエ鑑賞事業

芸術を通して豊かな感性を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学校2年生約2,000名を対象とするバレエ鑑賞事業を引き続き開催した。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和5年9月25日（月）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

特別協賛：株式会社ニトリ

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：東京バレエ団

プログラム：「ドン・キホーテ」より抜粋

「ボレロ」

入場料：無料

入場者数：1,906人（札幌市内中学校20校 他）

<配信事業>

青少年向けバレエ鑑賞事業

札幌市内の中学2年生を対象に、hitaruで過去に開催した事業のアーカイブ映像と作品内容の解説、劇場の紹介等を含む映像教材をYouTubeにて配信した。応募のあったそれぞれの中学校にて鑑賞し、総合芸術としてのバレエを楽しむ機会を創出した。

期 日：令和5年11月1日（水）～11月30日（木）

会 場：各中学校

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

特別協賛：株式会社ニトリ

出 演：東京バレエ団

プログラム：「白鳥の湖」プロローグ付き第2幕
「ボレロ」

参加料：無料

視聴人数：312人（札幌市内中学校7校）

②クリエイティブスタジオ事業

市内文化芸術団体等との連携により、音楽・舞踊・演劇・伝統芸能など多様なジャンルの実演芸術の創造と鑑賞の機会を市民へ提供し、文化芸術活動の活性化を促進した。

（1）青年団「ソウル市民」

新規

日本人の植民地支配下に生きるソウルの日本人一家を通して植民地支配者の本質を明晰確固と描き、現代口語演劇の出発点となった、1989年初演の平田オリザ代表作を上演した。また、各公演終了後には平田オリザによるアフタートークを実施した。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和5年5月13日（土）、14日（日）
各日開演13:30

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

作・演出：平田オリザ

企画制作：青年団／有限会社アゴラ企画

出 演：永井秀樹、天明留理子、木崎友紀子、太田宏、
田原礼子、立蔵葉子、森内美由紀、

木引優子、石松太一、森岡望、尾崎宇内、
新田佑梨、中藤奨、藤瀬のりこ、吉田庸、
名古屋愛、南風盛もえ、伊藤拓

入場料：全席指定 一般 3,500円、U25 2,000円

入場者数：5月13日 156人、5月14日 152人

<関連事業>

平田オリザによる青年団「ソウル市民」 プレレクチャー

新規

令和5年5月13日（土）、14日（日）開催、青年団「ソウル市民」公演の関連事業。「ソウル市民」作・演出の平田オリザが現代口語演劇作品の楽しみ方などをレクチャーした。



期 日：令和5年5月10日（水）開始19:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

講 師：平田オリザ

入場料：全席自由 無料

入場者数：77人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(2) クリエイティブスタジオ

シネマシリーズ6 映画へと導く映画

岨手由貴子監督が選んだ2作品「冬の旅」、「おーい！どんちゃん」を上映。特別講演後半には「おーい！どんちゃん」の沖田修一監督も登壇し同作品の撮影秘話を語ったほか、岨手監督と沖田監督によるサイン会も実施した。



期 日：令和5年11月25日（土）

①上映1「冬の旅」開始12:00

②上映2「おーい！どんちゃん」開始14:25

③岨手由貴子監督 特別講演 開始17:40

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

企画制作：小野朋子

出 演：岨手由貴子（映画監督）

沖田修一（映画監督）

入場料：全席指定 前売 2,500円、当日 3,000円

入場者数：133人

(3) クリエイティブスタジオ

シネマシリーズ7 映画へと導く映画

三宅唱監督が選んだ2作品「キートンの探偵学入門 Sherlock Jr.」、「モガンボ」の上映と、特別講演として上映作品の解説や自身の作品にもたらした影響などを語ったほか、三宅監督によるサイン会も実施した。



期 日：令和6年1月27日（土）

①上映1「キートンの探偵学入門 Sherlock Jr.」開始13:30

②上映2「モガンボ」開始14:55

③三宅唱監督 特別講演 開始17:30

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

企画制作：小野朋子

出 演：三宅唱（映画監督）

入場料：全席指定 前売 2,500円

入場者数：151人

(4) 範宙遊泳「バナナの花は食べられる」

新規

フィクションで現実を乗り越え生きていこうとする人々の人情劇、作・演出 山本卓卓による第66回岸田國土戯曲賞受賞作を上演した。



撮影：高橋克己

期 日：令和5年9月22日（金）開演18:30

23日（土・祝）開演13:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：公益財団法人北海道文化財団、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道

制作協力：ダブルス

助 成：公益財団法人セゾン文化財団（山本卓卓フェロー）

作・演出：山本卓卓

企画制作：合同会社範宙遊泳

出 演：埜本幸良、福原冠、井神沙恵、入手杏奈、植田崇幸、細谷貴宏

入場料：全席指定 前売 一般 3,500円、U25 2,000円

当日 一般 4,000円、U25 2,500円

入場者数：22日 159人、23日 160人

③大学連携事業

札幌市内の大学と連携し、大学の教授、音楽家、ピアニストなどがオペラ、バレエ、ミュージカルなどの見どころ・聴きどころをより分かりやすく解説するとともに、本番の公演をお客様により楽しんでもらう企画として、市民が気軽に参加できる機会を提供した。

<連携事業>

札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業 アートプログラム2023 第1回 オペラ「ドン・カルロ」見どころ・聴きどころ

令和5年10月7日（土）、8日（日）開催の札幌市民交流プラザ開館5周年事業 東京二期会オペラ「ドン・カルロ」公演に先立ち、オペラ「ドン・カルロ」をテーマに作品の見どころ・聴きどころを札幌大谷大学の千葉潤学長が解説した。



期 日：令和5年9月7日（木）開始19:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌大谷大学

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

出 演：千葉潤（札幌大谷大学学長）

入場料：全席自由 1,000円

入場者数：82人

<連携事業>

札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業 アートプログラム2023 第2回 バレエ「くるみ割り人形」見どころ・聴きどころ

令和5年12月9日（土）、10日（日）開催の hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」（全幕）関連事業として、作品の見どころ・聴きどころを千葉潤学長が解説したほか、講演の後半には同公演に出演する厚地康雄氏が登壇し出演者の視点から見どころ・聴きどころについて解説した。



撮影：n-photo LLC

期 日：令和5年11月16日（木）開始19:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌大谷大学

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

出 演：千葉潤（札幌大谷大学学長）

厚地康雄（元バーミンガム・ロイヤル・バレエプリンシパル）

入場料：全席自由 1,000円

入場者数：108人

4 交流事業

札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ、札幌文化芸術交流センター SCARTS、札幌市図書・情報館など、さまざまなジャンルの事業展開が可能な札幌市民交流プラザの特性を活かし、多様な市民に参加・交流の場を提供して、多くの市民が文化芸術に触れることで施設のにぎわい創出につながる事業を実施した。

①札幌市民交流プラザ開館5周年事業

2023グランドオペラフェスティバル in Japan
シュトゥットガルト州立歌劇場との提携公演
東京二期会オペラ

ジュゼッペ・ヴェルディ「ドン・カルロ」
オペラ全5幕（イタリア語5幕版）

日本語字幕付

原語（イタリア語）上演 <<新制作>> **新規**

札幌市民交流プラザ開館5周年事業・東京二期会とシュトゥットガルト州立歌劇場、そして札幌文化芸術劇場 hitaru の提携公演として、「オペラ王」の異名を持つジュゼッペ・ヴェルディの中期の傑作、オペラ「ドン・カルロ」を上演した。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和5年10月7日（土）、8日（日）

各日開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：一般社団法人グランドオペラジャパン、
公益財団法人東京二期会

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業（キャラバン）独立行政法人日本芸術文化振興会

演 出：ロッテ・デ・ベア

出 演：レオナルド・シーニ（指揮）

ジョン ハオ（フィリッポⅡ世）

※妻屋秀和出演キャンセルのため2公演出演に変更

城宏憲／樋口達哉（ドン・カルロ）

清水勇磨／小林啓倫（ロドリゴ）

大塚博章／狩野賢一（宗教裁判長）

清水宏樹／畠山茂（修道士）

木下美穂子／竹多倫子（エリザベッタ）

加藤のぞみ／清水華澄（エボリ公女）

守谷由香／中野亜維里（テバルド）

児玉和弘／前川健生

（レルマ伯爵&王室の布告者）

雨笠佳奈／七澤結（天よりの声）

岸本大、寺西一真、外崎広弥、宮城島康、
宮下嘉彦、目黒知史（6人の代議士）ほか
二期会合唱団（合唱）

東京フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）

入場料：全席指定 S席 16,000円、A席 14,000円、
B席 10,000円、C席 8,000円、D席 5,000円
U25席 各席2,000円引き（S席を除く）

入場者数：10月7日 680人、10月8日 465人

5 舞台技術向上への取組

舞台技術者の技術の向上や知識・経験の共有を図るため、舞台技術者を対象としたセミナーを開催した。

また、他の劇場や芸術団体と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

①第4回 hitaru 舞台技術セミナー ー知らないこと、それがキケンですー

札幌及び北海道の中核劇場として、市内道内の舞台技術者の技能向上と技術・経験の共有を目的に、道内公共ホールや舞台技術業者、舞台系専門学校等に広く参加を呼びかけ、「第4回 hitaru 舞台技術セミナー」を開催した。



期 日：令和6年1月30日（火）、31日（水）
1月30日（火）

- ①ゼミ1「スモークについて」13:00～14:15
- ②ゼミ2「特効について」14:30～15:45
- ③ゼミ3「パネルディスカッション」
16:00～17:15

1月31日（水）

- ④ゼミ4「燃焼実験①」10:00～11:15
- ⑤ゼミ5「燃焼実験②」11:30～12:45
- ⑥劇場見学（自由参加）13:45～15:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

講 師：糸田正志（株式会社特効）

井出雄一郎（合同会社 zacuro）

村田大典（株式会社ステージアンサンプル）

高玉通廣（札幌市中央消防署予防課防火推進係長）

庄司千恵子（札幌市中央消防署予防課防火推進係）

伊藤久幸（札幌文化芸術劇場舞台技術アドバイザー）

齋藤玲（札幌文化芸術劇場舞台技術担当課長）

戸高健司（札幌文化芸術劇場照明チーフ）

参加料：無料

参加者：173人

②技術協力支援

高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

（1）札幌舞踊会 本部お楽しみ会☆ 支部・カルチャー発表会

期 日：令和5年4月30日（日）

会 場：札幌市民ホール

主 催：有限会社札幌舞踊会

（2）WE LOVE BALLET Golden Week Concert 2023

期 日：令和5年5月5日（金・祝）～7日（日）

会 場：札幌市民ホール

主 催：We Love Ballet実行委員会

（3）DANCE STUDIO LoRe 発表会 「BON VOYAGE vol.6」

期 日：令和5年6月23日（金）、24日（土）

会 場：札幌サンプラザコンサートホール

主 催：ダンススタジオ LoRe

（4）アトリエNoa 第6回発表会

期 日：令和5年7月15日（土）～17日（月・祝）

会 場：幕別百年記念ホール

主 催：アトリエNoa

（5）小林絹恵バレエスタジオ 第6回定期発表会

期 日：令和5年8月16日（水）、17日（木）

会 場：札幌市民ホール

主 催：小林絹恵バレエスタジオ

市民交流プラザ事業部

主催事業

(6) 小樽市民会館 開館60周年記念 バレエくるみ割り人形全幕公演

期 日：令和5年12月21日（木）～24日（日）
会 場：小樽市民会館
主 催：小樽市民会館

(7) アンジュバレエスタジオ 30周年記念公演

期 日：令和6年1月5日（金）、6日（土）
会 場：帯広市民文化ホール 大ホール
主 催：アンジュバレエスタジオ

(8) 第64回 子ども舞踊祭

期 日：令和6年3月27日（水）、28日（木）
会 場：札幌市民ホール
主 催：札幌洋舞連盟

札幌文化芸術交流センターに関する事業

1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

誰もが気軽に文化芸術に触れられる場や機会の創出を通して、都心部ににぎわいを生み出す事業を展開した。

また、地元アーティストや他分野との連携などにより、札幌ならではの特徴的な事業を構築し、地域の魅力づくりに寄与するとともに、SCARTSの認知度向上に繋げた。

【SCARTSクリエイションプロジェクト （リサーチ）】

SCARTSの施設特性や今日の社会状況等を踏まえたSCARTSの主幹事業を計画するため、全国のアートセンター等の文化施設や特徴的な事業についてのリサーチやヒアリングを重ね、事業企画の検討を行った。

【SCARTSメディアアーツシリーズ】

メディアアートを軸に、市内の専門機関と連携し、メディアアーツ都市札幌の取り組みの充実に資する事業を展開した。今年度は北海道大学 CoSTEP との連携による教育プログラムを中心に実施。昨年度まで SIAF ラボとの連携で取り組んできた雪国の自然環境と都市機能にまつわる研究開発（R&D）に基づく展覧会は、札幌国際芸術祭2024の中で実施した。

①SCARTS×CoSTEP 研究会「みんなで考える アート&サイエンスワークショップ」

北海道大学 CoSTEP と連携して実施してきた若年層向けワークショッププログラムの充実化を図るため、現役の教員と高校生を迎え、オープンな形式の研究会を開催した。近年、高校教育の現場で取り組まれている「探究学習」に着目し、アートやサイエンスの視点と探究学習の接続の可能性について考える機会となった。

第1部の事例紹介・パネルディスカッションでは、市内3校の教員より各校で取り組む「探究学習」の実践と課題、生徒の反応などについて紹介があった。高校生の発表では、探究学習を通して共同することを学び、社会とのつながりを実感したといった感想が語られた。

第2部のレクチャーでは、SCARTS と CoSTEP で取り組んできたワークショップの事例に触れながら、

札幌文化芸術交流センターに関する事業 1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

世界にみる STEAM 教育、アートを紹介した分野横断的学習の意義を紹介した。

第3部では、参加者、登壇者、SCARTS と CoSTEP のスタッフが入り交じり、第1部と第2部の感想を共有するとともに、高校生に興味を喚起するためのプロセス設計のアイデア、アートやアーティストに接する機会づくりについてなど、さまざまな意見交換を行った。



撮影：クスミエリカ

期 日：令和5年10月28日（土）14:00～16:30

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

連 携：札幌国際芸術祭実行委員会・教育喫茶

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

協 力：SCOP（Sapporo Community Of Practice）

登壇者：〔第1部〕

黒井憲（市立札幌開成中等教育学校 教員）、
田中文佳（札幌龍谷学園高等学校 教員）、
長井翔（市立札幌藻岩高等学校 教員）、
名達諒（市立札幌大通高等学校 4年生）

モデレーター：西野功泰（札幌市教育委員会）

〔第2部〕 奥本素子（北海道大学 CoSTEP 准教授）

参加料：無料

参加者数：19人

②SCARTS×CoSTEP ツアー＆ワークショップ 「高校生と考えるアート＆サイエンス」

高校生にアート作品の鑑賞およびアーティストとの交流の機会を提供し、彼らの関心について知ることを目的に、札幌国際芸術祭2024の会場「未来劇場」にて、CoSTEP と SCARTS スタッフのガイドによる鑑賞ツアー及び出展アーティストのフジ森による作品解説を

実施。その後 SCARTS にて、北海道大学 CoSTEP の受講生とともに、高校生たちがツアーでの発見を共有し、今後どんな学びの場に参加してみたいか意見交換をするワークショップを行った。



撮影：門間友佑

期 日：令和6年2月10日（土）14:00～17:00

会 場：SCARTS スタジオ、未来劇場（東1丁目劇場施設）

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）、札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市

後 援：札幌市教育委員会

入場料：無料

参加者数：20人

【SCARTS 連携事業】

①大学連携コンサート

財団が連携協定を結ぶ2大学と連携し、次世代を担う若手音楽家に発表の機会を提供するとともに、市民が気軽に文化芸術に触れる場を創出することを目的として、コンサートを実施した。

（1）大学連携コンサート 北海道教育大学 岩見沢校「クラシックとジャズの出会 い〜カプースチンとアメリカ」

クラシックとジャズの出会いをテーマに開催。カプースチンによる「フルート・ソナタ」、コーブランドのピアノ曲、ジャズのスタンダードナンバーとして有名な「サマータイム」などの演奏を披露し、クラシック音楽とジャズの魅力を組み合わせた美しく迫力のあるコンサートとなった。

期 日：令和5年8月21日（月）①19:00～19:45

22日（火）②14:00～14:45

市民交流プラザ事業部

主催事業



撮影：n-foto LLC

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

協 力：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻

出演者：小山みなみ（ピアノ）、鈴木勇太（フルート）、
畠山瑠那（ソプラノ）、畠山伶寧（ピアノ）

入場料：無料

入場者数：①58人 ②75人

（2）大学連携コンサート 札幌大谷大学

「ピアノジョイントコンサート 情熱の鼓動」

出演者の2人がカプースチンの「シンフォニエッタ op.49よりⅠ楽章」と、ボロディンの「オペラ『イーゴリ公』より〈ダッタン人の踊り〉（ジョナサン・スコット編曲）」を連弾したほか、それぞれピアノソナタを演奏した。若さ溢れる演奏により、クラシック音楽の多面的な魅力を市民にアピールする機会となった。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和5年10月31日（火）19:00～19:45

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

市芸術文化財団）

後 援：札幌市

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

協 力：札幌大谷大学 芸術学部 音楽学科

出演者：荻原るか（ピアノ）、三上慎太郎（ピアノ）

入場料：無料

入場者数：65人

②第52回SAPPOROぶんだんきょうフェスティバル

札幌市の芸術・文化の振興を目的に、札幌文化団体協議会との共催により、札幌で活動する作家の絵画や書、造形作品など多彩なジャンルの作品を展示した。また、一般公募した子どもたちや全道の特別支援学校・学級（小・中学校）からの応募作品を展示する「こどもアール・ブリュット北海道みらい作品展」を同時開催した。



撮影：札幌文化団体協議会

期 日：令和5年8月18日（金）～20日（日）
10:00～18:00（20日のみ10:00～17:00）

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モール A・B・C

主 催：札幌文化団体協議会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：3,015人

③SCARTS×さっぽろ天神山アートスタジオ 「天神山、まちにいく。」

さっぽろ天神山アートスタジオは、国内外のアーティスト等が滞在しながら創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンス（AIR）拠点である。令和5年度は、開館10周年となるさっぽろ天神山アートスタジオのこれまでの活動を振り返る展示とともに、施設の日常的な営みを再現するようなイベントとして、「アーティストレシピお菓子の試食&お茶会 with 滞在アーティスト」、ワークショップ「日曜日のスタジオ SCARTS 出張編・2000本のペンで絵を描こう!」、「台湾アーティスト派遣プログラム報告会」を実施し、同スタジオの取り組みを広く市民に紹介する機会となった。



期 日：令和5年12月3日（日）12:00～19:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、さっぽろ天神山アートスタジオ／一般社団法人 AIS プランニング

ワークショップ講師：本間洸多（天神山スタッフ、アーティスト）

報告会プレゼンター：上ノ大作、黒田大スケ（2023 交換プログラム派遣アーティスト）

入場料：無料

入場者数：40人（お茶会15人、ワークショップ15人、報告会10人）

④さっぽろアートステージ2023 ART STREET

“アートの入口”をテーマに札幌市内各所でさまざまな文化イベントが行われる秋の恒例イベント「さっぽろアートステージ」のプログラム。子どもを対象としたワークショッププログラム「キッズアートフェス」に加え、昨年度まで札幌駅前通地下歩行空間で開催されていた「University Student ART Competition」、
「ボーダレスアート作品展」を開催した。



（1）キッズアートフェス

3組のアーティストを講師に迎えたワークショップで子どもたちが制作した作品のほか、各アーティストの作品もあわせて展示した。

期 日：令和5年11月11日（土）～23日（木・祝）

休館日 11月22日（水）

会 場：SCARTS コート

主 催：さっぽろアートステージ実行委員会（札幌劇場連絡会・札幌市中学校校文化連盟音楽専門委員会・北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部・株式会社エフエム北海道（AIR-G'）・CAI 現代芸術研究所・札幌駅前通まちづくり株式会社・札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

アーティスト：榎見菜々子（美術家）、熊谷文秀（造形作家）、宮永亮（ビデオ・アーティスト）

入場料：無料

入場者数：1,159人

<関連プログラム>

1. ワークショップ①

「君の写真にアートで動きを吹き込もう！」

期 日：令和5年11月11日（土）、12日（日）

10:00～19:00

会 場：SCARTS コート

講 師：宮永亮（ビデオ・アーティスト）

参加者数：23人

2. ワークショップ②

「小さな『冬囲い』をつくろう！」

期 日：令和5年11月18日（土）、19日（日）

11:00～12:00

会 場：SCARTS コート

講 師：榎見菜々子（美術家）

参加者数：26人

市民交流プラザ事業部

主催事業

3. ワークショップ③

「アニメーションの原点を体験しよう！」

期 日：令和5年11月18日（土）、19日（日）

13:00～14:00

会 場：SCARTS コート

講 師：熊谷文秀（造形作家）

参加者数：27人

（2）University Student ART Competition

北海道内の美術系大学6校から選抜された学生の作品を紹介し、審査員により優秀作品を決定した。

期 日：令和5年11月12日（日）～23日（木・祝）

10:00～19:00（23日のみ10:00～17:00）

休館日 11月22日（水）

会 場：SCARTS モールA

主 催：さっぽろアートステージ実行委員会（札幌劇場連絡会・札幌市中学校文化連盟音楽専門委員会・北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部・株式会社エフエム北海道（AIR-G'）・CAI 現代芸術研究所・札幌駅前通まちづくり株式会社・札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団））

参加校：札幌大谷大学、札幌市立大学、星槎道都大学、東海大学、北翔大学、北海道教育大学

審査員：吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）、浅沼敬子（北海道大学大学院文学院・文学研究院 准教授〔芸術学〕）、大森祥太（芸森ワース代表）、端聡（美術家／さっぽろアートステージ美術部門総合プロデューサー）

入場料：無料

入場者数：4,245人

（3）ボーダレスアート作品展

北海道内の福祉事業所に通う障がいを持つ方々による多彩な表現を紹介した。

期 日：令和5年11月12日（日）～23日（木・祝）

10:00～19:00（23日のみ10:00～17:00）

休館日 11月22日（水）

会 場：SCARTS モールB

主 催：さっぽろアートステージ実行委員会（札幌劇場連絡会・札幌市中学校文化連盟音楽専門委員会・北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部・株式会社エフエム北海道（AIR-G'）・CAI 現代芸術研究所・札幌駅前通まちづくり株式会社・札幌文化芸術交流センター

SCARTS（札幌市芸術文化財団）

企 画：ボーダレスアートサポート北海道（BASH）

入場料：無料

入場者数：（2）University Student ART Competition の入場者数に含まれる

⑤NoMaps2023

札幌・北海道を舞台に、クリエイティブな発想と技術によって次の社会・未来を創ろうとする人たちのためのコンベンションを開催。カンファレンスや展示、イベント、交流、実証実験など、企業と市民をつなげる多様な事業を展開した。



期 日：令和5年9月13日（水）～17日（日）

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、SCARTS モールA・B・C

主 催：NoMaps 実行委員会

協 力：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

入場者数：1,655人

⑥札幌市図書・情報館セミナー

隣接する札幌市図書・情報館の企画により、インターネットの中にもない最新の情報を提供することをコンセプトに「WORK」、「LIFE」、「ART」、「札幌の魅力」をテーマとしたオリジナルのセミナーを月2回開催した。

(1) 女性のための起業のヒント

期 日：令和5年5月18日（木）18:30～20:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市、一般財団法人さっぽろ産業振興財団、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市

協 力：札幌市男女共同参画センター

講 師：小西麻衣（合同会社my企画（Local Business Lab）・中小企業診断士）、菅原亜都子（札幌市男女共同参画センター事業係長）、南ゆき（カフェ自休自足 代表）

入場料：無料

入場者数：41人

(2) “もしも、あなたが…～がんを知らない とジャッジもチョイスもできない～”

期 日：令和5年5月20日（土）13:30～15:30

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

共 催：北海道テレビ放送株式会社

後 援：日本対がん協会

講 師：阿久津友紀（北海道テレビ放送株式会社 東京支社編成業務部長）、関谷繭子（株式会社えにしテック デザイナー）、藤原紗矢郁（株式会社北洋銀行 ローン統括部調査役）

入場料：無料

入場者数：75人

(3) “つながりを仕事に

～フィリピンから学ぶ起業のノウハウ～”

期 日：令和5年6月24日（土）13:30～15:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市図書・情報館、フェアトレード北海道、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

協 力：フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議

講 師：東山高志（社会教育士、ツナミクラフト代表、アジアなりわいネット アドバイザー）

入場料：無料

入場者数：27人

(4) 「サイエンスコミュニケーションとアートを融合する」～札幌から始まるアートでつなぐサイエンス～

期 日：令和5年6月29日（木）18:30～20:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市図書・情報館、北海道大学 CoSTEP、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：奥本素子（北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）准教授）、朴炫貞（北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）特任講師）

入場料：無料

入場者数：37人

(5) 好きを仕事に生きること～現役選手と社長に聞く地域スポーツの魅力～

期 日：令和5年7月29日（土）13:30～15:30

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：矢野哲也（株式会社BTOP 代表取締役）、金澤宗一郎（北海道十勝スカイアーススポーツ株式会社代表取締役社長）、濱大耀（BTOP北海道、DF）、阿部遼海（BTOP北海道、FW）、畠山諒介（BTOP北海道、GK）

ファシリテーター：矢野奨（commono 株式会社 代表取締役）

入場料：無料

入場者数：22人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(6) 「社会貢献」で起業する ソーシャルビジネスセミナー in SAPPORO

期 日：令和5年8月24日（木）18:30～20:00
会 場：SCARTS コート
主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団、日本政策金融公庫、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
出演者：草野竹史（NPO法人 ezorock 代表理事）、丸山維乃（株式会社ホスキュア 代表取締役）、吉井美穂子（NPO法人猫と人を繋ぐツキネコ北海道 代表理事）
モデレーター：河西邦人（札幌学院大学 学長）
入場料：無料
入場者数：21人、オンライン24人

(7) 劇団イナダ組×法テラス 法テラス劇場「トラブル回避のための 選択肢」～その「悩み」は、「微笑み」 に変わった。～

期 日：令和5年10月21日（土）
[第1部] 11:00～12:00
[第2部] 13:30～14:30
会 場：SCARTS コート
主 催：日本司法支援センター札幌地方事務所（法テラス札幌）、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
作・演出：イナダ（劇団イナダ組）
解 説：第一部：高木淳平（弁護士）
第二部：岩井英典（司法書士）
出演者：川上有、佐藤剛、山村素絵、吉田諒希 ほか
総司会：森田早桜
入場料：無料
入場者数：204人

(8) 夜パフェ専門店とショートケーキ缶が できるまで・できたあと

期 日：令和5年11月30日（木）18:30～19:30
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：橋本学（株式会社GAKU 代表取締役）
入場料：無料
入場者数：44人

(9) いっぱいのミルクから広がる、未来への チカラ ～町村農場100年、持続可能な 経営戦略～

期 日：令和5年12月9日（土）13:30～15:00
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：町村均（株式会社町村農場 代表取締役）
入場料：無料
入場者数：33人

(10) First Step! 初めての創業セミナー ～図書・情報館からはじまる起業準備～

期 日：令和5年12月14日（木）18:30～20:00
会 場：SCARTS コート
主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
共 催：日本政策金融公庫
後 援：札幌市
講 師：高松浩子（株式会社和學館 代表取締役）、小塚友平（日本政策金融公庫 国民生活事業 北海道創業支援センター 所長）
入場料：無料
入場者数：25人、オンライン33人

(11) ひとのふんどしでのすもうのとりかた ～自分で作(や)らないクリエイティブ～

期 日：令和6年2月29日（木）18:30～20:00
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：山口哲志（ドラマチッククリエイション&エンターテイメント企画）
入場料：無料
入場者数：25人

(12) 起業実現にむけた上手な相談のしかた （さっぽろ産業振興財団）

期 日：令和6年3月14日（木）18:30～20:00
会 場：SCARTS コート
主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：大野昌人（北海道よろず支援拠点 コーディ

札幌文化芸術交流センターに関する事業
1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

ネーター)、鬼山亜佑美(株式会社 OASIS GARDEN 広報部長)、山田寛子(株式会社 OASIS GARDEN 代表取締役)

入場料: 無料

入場者数: 35人、オンライン25人

(13) マンガがつくる、札幌のミライ

期 日: 令和6年3月16日(土) 15:00~17:00

会 場: SCARTS コート

主 催: 札幌市まちづくり政策局プロジェクト担当部、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

講 師: 浅野隆夫(まちづくり政策局プロジェクト担当部長)、カジタシノブ(tab.LLC)、竹内美帆(星槎道都大学専任講師)、吉村和真(京都精華大学教授)、山村高淑(北海道大学教授)

入場料: 無料

入場者数: 74人

⑦彫美連続講座2023(再掲)

⑧札幌市教育文化会館×札幌文化芸術交流センター SCARTS×札幌市図書・情報館 三館連携事業 能楽展2023 白鏡~明滅の虚空~/黒戯~幽闇の隠者~(再掲)

【SCARTS パブリックリレーションズ】

①西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

(1) 西2丁目地下歩道映像上映

さっぽろ地下街オーロラタウンと札幌市民交流プラザをつなぐ「西2丁目地下歩道」を舞台にした映像制作プロジェクト。4面プロジェクションで構成された横長のスクリーンと、歩行空間という特徴を生かしながら、多様で実験的な映像表現を探究してきた。令和5年度は、空族の新作《ILHA FORMOSA》を加えた6作品の上映を行った。



撮影: Kenzo Kosuge

期 日: 令和5年4月1日(土)~
令和6年3月31日(日)

会 場: 西2丁目地下歩道

主 催: 札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

入場料: 無料

上映作品: スタジオロッカ《UNDER UNIVERSE》(2019年)

大木裕之《トシ シ》(2020年)

野口里佳《虫・木の葉・鳥の声》(2020年)

アピチャップン・ウィーラセタクン《憧れの地(The Longing Field)》(2021年)

小田香《Underground》(2022年)

空族《ILHA FORMOSA》(2023年)

(2) 空族 台湾先遣隊調査報告

《ILHA FORMOSA》

特別上映&アーティストトーク **新規**

《ILHA FORMOSA》は、2022年8月に空族が台湾各地取材し、人々の暮らしに密接に関わる伝統音楽と祭りに加え、民族音楽に現代的な要素を混ぜ合わせるミュージシャンの多様な姿を記録した映像作品。台湾の土地の歴史や日本との関係性を点描し、今の台湾の生き生きとした姿を映し出す本作の公開を記念して、特設スクリーンによる5日間の特別上映とアーティストトークを行った。トークでは、空族の富田克也、相澤虎之助ら制作メンバーが、制作プロセスやその背景について、リサーチで集めた資料などを参照しながらさまざまなエピソードを紹介した。



撮影: 伊藤留美子

期 日: [上映] 令和5年6月9日(金)~13日(火)
11:00~19:00 (10日のみ13:00閉場)

[トーク] 令和5年6月10日(土)

17:00~18:30

会 場: SCARTS コート

市民交流プラザ事業部

主催事業

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

出 演：相澤虎之助（空族）、田中隆之介（空族）、
富田克也（空族）、古屋卓磨／Mr.磨（スタジオ石）

モデレーター：杉原永純（キュレーター／プロデューサー）

上映作品：空族《ILHA FORMOSA》（2023）

入場料：無料

入場者数：[上映] 213人 [トーク] 55人

<関連プログラム>

1. 空族《典座 -TENZO-》

上映&富田克也監督トーク

期 日：令和5年6月9日（金）18:20～19:55

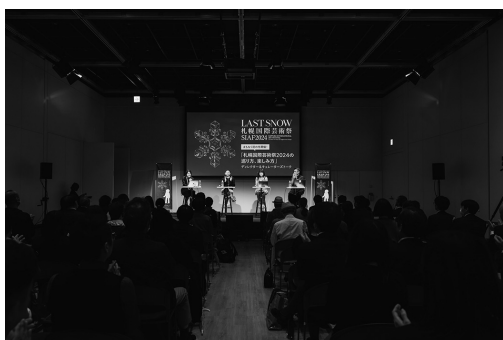
会 場：シアターキノ

主 催：株式会社キノ

②プラザフェスティバル2023

（1）まもなく初の冬開催！札幌国際芸術祭 2024のめぐり方、楽しみ方 ディレク ター&キュレーターズトーク **新規**

札幌国際芸術祭2024（略称：SIAF2024）の最新情報や各ゲストが担当する企画の見どころについてトークを行った。主要6会場を中心に、初の冬開催となるSIAF2024を最大限に楽しめる巡り方やゲストのおすすめルートなどを紹介した。



撮影：クスミエリカ

期 日：令和5年10月6日（金）19:00～20:30

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌市

登壇者：木ノ下智恵子（SCARTS 事業統括ディレクター）、齋藤精一（パノラマティクス主宰）

モデレーター：小川秀明（SIAF2024ディレクター）、
細川麻沙美（SIAF統括マネージャー）

参加料：無料

参加者数：66人

（2）北日本アートセンターミーティング

新規

全国にある多様なアートセンターの中から、SCARTSと活動領域の重なる北日本エリアのアートセンター3館のスタッフと研究者をゲストに招き、公開ミーティングを開催した。それぞれの特色ある活動を紐解きながら、地域のアートセンターの役割や可能性について考える機会となった。



撮影：門間友佑

期 日：令和5年10月7日（土）16:00～18:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

登壇者：芦立さやか（秋田市文化創造館ディレクター）、
甲斐賢治（せんだいメディアテーク アーティスト・ディレクター）、慶野結香（公立大学法人青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC] 学芸員）、松本桜子（SCARTS スタッフ）、吉本光宏（合同会社コモンズ研究所代表）

モデレーター：木ノ下智恵子（SCARTS 事業統括ディレクター）

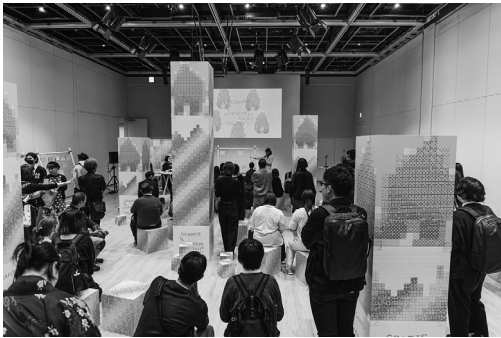
参加料：無料

参加者数：36人

(3) スカーツパーティ

新規

文化芸術に関する活動に携わる方、関心のある方をおもな対象に「ひと・もの・ことをつなぐ」というSCARTSの機能を可視化する交流会を行った。参加者それぞれがフライヤーを持ち込み、自身の活動について発信するとともに、企画協力の小田井真美をパーソナリティとしたラジオ番組風のトークを実施し、ゲストの活動紹介を行った。参加者同士の自由な交流や情報交換を楽しむ場となった。



撮影：門間友佑

期 日：令和5年10月8日（日）

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

企画協力：小田井真美（さっぽろ天神山アートスタジオ プログラム・ディレクター）、カジタシノブ（tab.LLC）

ラジオゲスト：大友恵理（北海道芸術文化アーカイブセンター運営メンバー）、川上りえ（美術家）、戸島由浦（アートプロデューサー／ダンサー）、成田真由美（札幌市文化芸術基本計画検討委員〔市民公募委員〕）、松本桜子（SCARTS スタッフ）

入場料：無料

参加者数：151人

(4) 絵本の読み聞かせ

「くるみわり人形」の世界

新規

12月に開催される hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」の公演を前に、家族で一緒に楽しめる「くるみ割り人形」の絵本の読み聞かせとピアノ演奏を行った。

期 日：令和5年10月9日（月・祝）14:00～14:45

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）



撮影：門間友佑

出 演：五十嵐いおり（読み聞かせ）、森希美（ピアノ演奏）

構成・進行：安達彩子

入場料：無料

参加者数：53人

(5) 札幌芸術の森クラフトキャラバン

森のわくわくワークショップ（再掲）

③SCARTS アニュアルレポート

SCARTSの活動を広く周知することを目的に、令和4年度の活動記録集をPDF形式で発行し、ウェブ上で公開した。

【SIAF2024 連携事業】

①札幌国際芸術祭2024

「SIAF2024 ビジターセンター@SCARTS」

新規

SIAF2024をめぐる旅の出発点として、都市と自然が共存する“札幌の今”をテーマに、多彩なコラボレーターとともに会場を創出した。各エリアに自然公園のビジターセンターになぞらえた案内、解説、体験促進、休憩・避難、調査研究、管理運営の機能を持たせ、見ごたえのある空間をつくり上げるとともに、市内の各会場を繋ぐハブの役割も果たした。

期 日：令和6年1月20日（土）～2月25日（日）

10:00～19:00

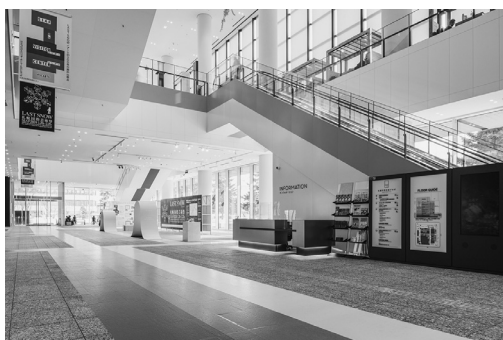
休催日 1月24日（水）～25日（木）、

2月14日（水）

会 場：SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTS モールA・B・C

市民交流プラザ事業部

主催事業



撮影：古瀬桂（GAZE photographica）

主 催：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌市

キュレーター：木ノ下智恵子（SCARTS 事業統括ディレクター）

コラボレーター：mangekyo（SCARTS 会場空間デザイン）、川尻竜一（SCARTS 会場アートディレクション、デザイン）、ソニーグループ株式会社、平川紀道、パノラマティクス、SIAF ラボ、『WIRED』日本版、札幌市図書・情報館

入場料：無料

（１）総合案内

SIAF2024の総合案内ブースとして、チケットやグッズの販売をはじめ、各会場のガイドや期間中のイベント情報の紹介など、SIAF2024の楽しみ方や巡り方を案内した。来場者の投稿によって芸術祭の魅力を共有する掲示板も設置し、休憩や待ち合わせスポットとしての場も提供した。

会 場：SCARTS モール A・B

入場者数：26,292人

（２）図書室

SIAF2024の各会場に関連するデザインやアーティストの作品集などをセレクトした図書館司書による選書展示を行った。

会 場：札幌市図書・情報館 1 階

コラボレーター：札幌市図書・情報館

（３）研究室

「都市と自然をめぐるラボラトリー」

SIAF ラボと SCARTS が取り組んできた札幌の都市機能と自然についての研究開発に基づくコンテンツと、パノラマティクスによる都市論や世界の雪の都市

に関するリサーチを組み合わせ、札幌という都市と自然の関係をローカルとグローバルの視点からあらためて考える展示を行った。

会 場：SCARTS モール C、札幌市図書・情報館 2 階

コラボレーター：SIAF ラボ、パノラマティクス、札幌市図書・情報館

入場者数：12,096人

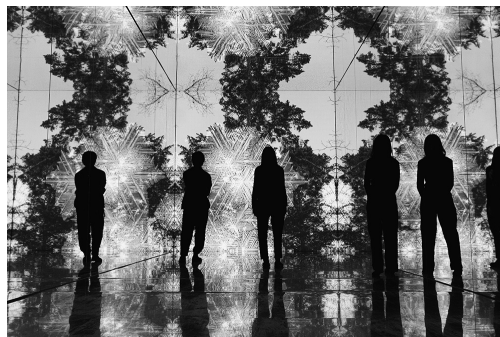


撮影：古瀬桂（GAZE photographica）

（４）展示室

「INTO SIGHT at SIAF2024ーリアルとバーチャルが解け合う世界へー」

ソニーグループ クリエイティブセンターによる新たなメディアプラットフォームの実験的な展示《INTO SIGHT》を国内初公開。ソニーのデザイナーにより制作された、来場者の動きに呼応して光、色、音が変化するインタラクティブな映像コンテンツ《Coded Ambience》に加え、2月10日からは札幌を拠点に国内外で活動するアーティスト・平川紀道が札幌の自然を題材に制作した新作《雪花譜 / six-petal automata》を公開した。



平川紀道《雪花譜/six-petal automata》

撮影：門間友佑

会 場：SCARTS コート

コラボレーター：ソニーグループ株式会社、平川紀道

入場者数：32,865人

(5) 多目的室

誰もが自由に出入りでき、休憩や交流などさまざまな目的で過ごすことができる空間を設え、SIAF2024をより深く楽しむためのトークイベントやワークショップ、映像上映なども行った。またスペースの一角では、WIRED ポッドキャストの公開収録も実施した。

会 場：SCARTS スタジオ

コラボレーター：『WIRED』日本版

入場者数：5,791人



<関連プログラム>

1. ビジターセンター オープニングトーク

「SIAF2024ビジターセンターへようこそ」

期 日：令和6年1月20日（土）18:30～20:00

会 場：SCARTS モール A・B

主 催：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌市

登壇者：小川秀明（SIAF2024ディレクター）、デザ院 工藤“ワビ”良平（SIAF2024アートディレクター、デザイナー）、川尻竜一（SCARTS会場アートディレクション、デザイン）、mangekyo 児玉結衣子（SCARTS会場空間デザイン）

モデレーター：木ノ下智恵子（SCARTS会場キュレーター）

参加料：無料

参加者数：26人

2. 札幌アートコミュニケーターズ

「『凹みスタディ』のスタディ2024」

期 日：令和6年1月28日（日）、2月18日（日）

各日14:00～16:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌アートコミュニケーターズ

連 携：共生社会をつくるアートコミュニケーション
共創拠点

協 力：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

ファシリテーター：札幌アートコミュニケーターズ

参加料：無料

参加者数：各日10人

3. SNZ「座談会と相談会（話をするよ！話を聞くよ！）」

期 日：令和6年1月29日（月）14:00～20:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：有楽町アートアーバニズム YAU

協 力：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者数：70人

4. ビジターセンタートーク

「都市と自然をめぐる」

期 日：令和6年2月4日（日）15:00～17:00

会 場：札幌市図書・情報館 1階サロン

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌市図書・情報館

登壇者：小町谷圭、石田勝也、船戸大輔（SIAF ラボ）、齋藤精一（パノラマティクス主宰）、松島倫明（『WIRED』日本版 編集長）

モデレーター：木ノ下智恵子（SCARTS会場キュレーター）

参加料：無料

参加者数：50人

5. ビジターセンタートーク

「アーティストが語る、札幌の今」

期 日：令和6年2月23日（金・祝）17:00～19:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

登壇者：内田聖良、佐藤壮馬、進藤冬華、SIAF ラボ（小町谷圭、石田勝也、船戸大輔、平川紀道）

モデレーター：樋泉綾子（SCARTS キュレーター）

参加料：無料

参加者数：50人

市民交流プラザ事業部

主催事業

2 文化芸術活動支援事業・ 文化芸術に関する調査研究事業

市民やアーティスト等の活動活性化やキャリアアップへの支援として、文化芸術情報を収集・発信できる場を提供するとともに、文化芸術に関する課題や悩みなどの相談も受け付けた。

また、文化芸術に関わる方々を対象とした講座や相談等も開催し、札幌で文化芸術活動が行いやすくなるような環境づくりにつなげた。

【SCARTS サポート事業】

インフォメーションカウンターや相談サービス、助成金の交付、オンラインでの情報発信、貸館サポート、ラーニングプログラム、企画公募事業など、文化芸術活動を支えるさまざまな事業を実施した。また、国や他都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査や研究を行った。

①SCARTS 相談サービス

アーティストや文化芸術団体を支援し、市内の文化芸術活動の活性化や質の向上に資することを目的に、事前予約制で、アーティストや文化芸術団体からの問い合わせ（活動場所、広報手段、助成金等）に対する情報提供やアドバイスを行った。

利用件数：131件

②SCARTS ラーニングプログラム

「助成金 はじめの一步」

レクチャー&相談会

札幌文化芸術交流センター SCARTS 助成金交付事業との連携企画として、公的支援である助成金をテーマにしたレクチャーを実施した。また、希望者に向けて講師・スタッフとの個別相談会を行った。



期 日：① [レクチャー] 令和5年7月28日（金）
18:30～19:30

② [相談会] 令和5年7月28日（金）

14:00～15:00、19:30～20:30

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：杉浦幹男（インディペンデント・ディレクター）

参加料：無料

参加者数：①54人 ②11組

③公募企画事業

（1）SCARTS 企画公募2024

令和6年度に実施する事業の企画を公募した。

募集期間：令和5年7月24日（月）～9月4日（月）

応募件数：48件

採択件数：4件

（2）岸田理生アバンギャルドフェスティバル in Sapporo 岸田理生没後20年記念公演「恋の激情・火學お七」

寺山修司作品の上演を中心に活動を続ける「劇団風蝕異人街」の公演を開催した。江戸時代、恋人に会いたい一心で放火事件を起こし火刑に処された『八百屋お七』を、岸田流の解釈で語り直した現代詩劇。円形劇場をイメージした四方を客席が囲うシンプルな舞台空間の中で、俳優のセリフと体を全て観客にさらけ出し、美しく幻想的な物語が繰り広げられた。

また関連事業として、舞台に立つためのカラダとセリフを学ぶ演劇ワークショップ講座を開催した。



撮影：野澤よしひろ

期 日：令和5年7月7日（金）19:00～20:30
8日（土）14:00～15:30、
19:00～20:30
9日（日）14:00～15:30

会 場：SCARTS コート

主 催：劇団 風蝕異人街、札幌文化芸術交流センター
SCARTS（札幌市芸術文化財団）

共 催：理生さんを偲ぶ会

入場料：前売 2,000円、当日 2,500円

入場者数：356人

<関連プログラム>

1. 演劇ワークショップ講座

期 日：令和5年①7月5日（水）、②6日（木）

19:00～21:00

会 場：SCARTS コート

講 師：三木美智代（劇団 風蝕異人街 代表／俳優）

参加料：恋の激情・火學お七 チケット購入

参加者数：①18人 ②18人

（3）シロとメロの暮らし展

500年後の地球で暮らす双子の未来人・シロとメロの生活を中心に、彼らの家族や、変質した地球環境とそこでの冒険を描く、あけたらしろめによるSF絵画シリーズ「シロとメロの物語」を題材とした展示を実施。

シロとメロの暮らす部屋の実寸パネル展示やサウンドインスタレーションにより、シロとメロの住む世界を表現したほか、参加型の展示やシルクスクリーンのワークショップ、弾き語りライブも行った。



撮影：まーてぃー

期 日：令和5年7月8日（土）～17日（月・祝）

10:00～19:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：ランドリーズ（こんの工作所・あけたらしろめ）、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：1,039人

<関連プログラム>

1. 不用品がよみがえるワークショップ シルクスクリーン絵付け体験

期 日：令和5年7月9日（日）～16日（日）

※12日を除く各日11:00～12:00、

14:00～15:00（9日、15日、16日は11:00～12:00のみ）

会 場：SCARTS スタジオ

参加料：2,000円

参加者数：22人

2. 弾き語りライブ

期 日：令和5年①7月9日（日）、②7月16日（日）

19:15～20:00

会 場：SCARTS スタジオ

出演者：アライヨウコ（9日）、日向文（16日）

参加料：大学生以上 1,500円、高校生以下 無料

参加者数：①9人 ②28人

（4）崧久一本店創業百周年記念展

「崧久100年～まちとアートと家族の物語」

大正12年（1923年）、札幌市中央区・山鼻の地に創業した仕出し料理店「崧久一本店（きくいちほんてん）」の100周年記念展。2代目社長・伊藤隆起の生涯や遺した作品を中心に、崧久一本店と行啓通地域の100年の歴史を辿るとともに、「崧久一」が輩出した美術関係者による作品の展示を行った。



撮影：酒井広司

期 日：令和5年8月31日（木）～9月10日（日）

11:00～19:00

会 場：SCARTS コート

出展者：伊藤隆起、伊藤隆一、伊藤隆道、伊藤隆平、
當間隆代、伊藤淳子、伊藤隆介、伊藤千織、
伊藤隆治、渡辺太郎、希理子、渡辺菜見子、
伊藤瑠久

市民交流プラザ事業部

主催事業

主 催： 㔷久一本店100周年展実行委員会、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援： 札幌市、札幌市教育委員会

入場料： 無料

入場者数： 2,920人

<関連プログラム>

1. オープニングイベント

仮装パフォーマンス

期 日： 令和5年8月31日（木）17:30～17:45

会 場： SCARTS コート

出 演： 伊藤隆平（㔷久一本店現会長）

参加者数： 170人

2. オープニングイベント

出展作家によるアーティストトーク

期 日： 令和5年8月31日（木）17:50～18:30

会 場： SCARTS スタジオ

参加者数： 170人

3. トークイベント

札幌（まち）と㔷久一の100年物語

[第1部] <㔷久一×ブラサトル特別企画>

行啓通と東屯田通の100年物語

[第2部] 㔷久一の大広間クロストーク

期 日： 令和5年9月2日（土）

[第1部] 14:00～15:00

[第2部] 15:15～16:30

会 場： SCARTS スタジオ

講 師： [第1部] 和田哲（街歩き研究家）

出 演： [第2部] 伊藤隆介、伊藤隆道、吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館 館長）、和田哲（街歩き研究家）

進 行： [第2部] 伊藤千織（本展プロデューサー）

参加者数： [第1部] 50人、[第2部] 50人

（5）横須賀令子アニメーション個展 「波と風のもののけたち」

札幌在住のアニメーション作家・横須賀令子が1980年代から2022年まで約40年間にわたって制作してきた墨絵短編アニメーション作品を、特設の4面スクリーンに投影した。また、これまでに作家が制作した数千枚の原画の中からおよそ160点を展示した。



撮影：門間友佑

期 日： 令和5年9月6日（水）～11（月）
11:00～19:00

会 場： SCARTS スタジオ

主 催： 横須賀令子、札幌文化芸術交流センター
SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料： 無料

入場者数： 618人

④札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

札幌市の文化芸術振興に賛同する方々からいただいた寄付を基に創設された「文化芸術振興基金」の運用益を活用し、札幌市を拠点に文化芸術活動を行う団体又は個人による、質の高い活動に対してその費用の一部を助成し、札幌市における文化芸術振興やさらなる発展につなげることを目的として実施した。

2 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業

(1) 令和5年度 札幌文化芸術交流センター
SCARTS文化芸術振興助成金交付事業
助成金交付決定者説明会・交流会

令和5年度助成対象活動として助成金交付が決定した方に対し、助成対象活動実施から精算までの事務手続きについて説明を行った。あわせて、各活動を自己紹介形式で発表し、PR・集客と今後の交流に繋げるための交流会を開催した。



期 日：令和5年4月27日（木）18:30～20:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者数：24人

〈令和5年度助成対象活動一覧〉

1. 特別助成事業

- ・LC アルモーニカ20周年記念オペラ「アンドレア・シェニエ」（全4幕・原語上演・日本語字幕付き）北海道初演（LC アルモーニカ）

2. 一般助成事業

- ・裏庭音楽祭（裏庭音楽祭実行委員会）
- ・HDP DANCE PREMIUM 2023（一般社団法人北海道ダンスプロジェクト）
- ・札幌発0泊8日の旅 空宙番外地ゆき 短編クリエイションツアー（きまぐれボニーテール）
- ・札幌座Pit「カフカ経由 シスカ行き Bound for Sisca via Kafka」（公益財団法人北海道演劇財団）
- ・札幌フィルハーモニー管弦楽団 第66回定期演奏会（札幌フィルハーモニー管弦楽団）
- ・SAPPORO 風呂敷フェスティバルと門松づくり（一般社団法人日本風呂敷文化協会）
- ・札幌洋舞連盟 第64回子ども舞踊祭（札幌洋舞連盟）
- ・「職人力展」（北海道貴金属工芸組合職人力展実行委員会 JES）
- ・弦巻楽団演技講座2023年度3学期「舞台に立つ」

（一般社団法人劇団弦巻楽団）

- ・虹より高く、あざやかに（OrgofA）
- ・東区市民劇団オニオン座公演 おしばいたまてばこ Vol.11（東区市民劇団オニオン座）
- ・ヒルデガルト・フォン・ビンゲンと9～12世紀キリスト教の女性作曲家たち（中村会子）
- ・ふえふきふたりとフルートデュオアランのフルートカルテットコンサート（立花雅和）
- ・FLAT and DYNAMISM 2023（川上りえ）
- ・北海道＋スウェーデンアート'23（北海道＋スウェーデンアート実行委員会）
- ・MY WORK 32 イラストレーション展（北海道イラストレーターズクラブアルファ）
- ・マクシミリアン弦楽四重奏団 ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲全曲シリーズ Vol.1（マクシミリアン弦楽四重奏団）
- ・もえぎ色第18回公演「ユメノサーカス'23」（パフォーマンズプロダクション COLORE）
- ・ru 企画 2023 耳で味わう文学 豊平館 de 朗読 向田邦子を爪弾く（ru 企画 西田薫）

(2) 令和6年度 札幌文化芸術交流センター
SCARTS文化芸術振興助成金交付事業 募集説明会

令和6年度の助成対象活動の募集に向けて、助成金交付事業の概要や昨年度からの変更点などを解説する募集説明会と個別相談会を実施した。

期 日：令和5年11月11日（土）、12日（日）

〔全体説明会〕13:00～14:00

〔個別相談会〕14:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者数：51人

(3) 令和6年度 札幌文化芸術交流センター
SCARTS 文化芸術振興助成金交付事
業 募集

新たな創造活動の可能性を切り拓く、独創性及び革新性に優れた文化芸術活動などを対象とした「特別助成事業」と、地域における実演芸術の発表や展覧会など多様な文化芸術活動などを対象とした「一般助成事業」の2つの区分で、令和6年度に実施する活動の募集を行った。

期 日：令和5年12月1日（金）～

令和6年1月10日（水）（申請受付期間）

申請件数：特別助成事業17件、一般助成事業90件

広報・利用促進に関する事業

1 広報

① 広報誌作成と事業広報との連携強化

圏域住民の市民交流プラザへの理解と支持を得るため、広報誌「wave times⁺（ウェーブタイムスプラス）」を発行し、市民交流プラザの取り組みを広く周知した。また、令和5年度から新たにWEBマガジン版も作成。劇場事業課、センター事業課および札幌市図書・情報館と連携しながら、主催事業等について市民交流プラザの広報を一体的に行った。

(1) 広報誌「wave times⁺」

札幌市民交流プラザの広報誌「wave times⁺」を6回（奇数月20日）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ送付したほか、公演・イベント会場等でも広く配布した。

また、財団内連携の一環として、連載企画「アートって楽しい！」を掲載。片庭向日葵をナビゲーターとして起用し、札幌市芸術文化財団が指定管理を行う6施設を紹介した。

(2) 地下鉄パンフレット広告

主要駅の地下鉄フリーパンフレットコーナーにて、広報誌「wave times⁺」を配架した。

(3) 協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やポスター広告の掲示等を行った。

② ホームページ、SNSなどを活用した広報

ホームページでは主催事業や貸館公演などのイベント情報を随時発信し、広く札幌市民交流プラザの周知を図るとともに、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語に対応した翻訳ツールを導入し外国人向けに情報発信を行った。ウェブアクセシビリティへの対応にも留意し、JISX8341-3:2016の適合レベルAA準拠を維持した。

2023年度公式ホームページアクセス数：1,544,776件

2023年度札幌市民交流プラザメンバーズホームページアクセス数：140,191件

また、X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram と

いった SNS も活用し、即時性のあるトピック、広報誌やチラシだけでは伝わりにくい公演や事業の詳細な発信を行った。また、外部業者との連携も図りながら公演などのチケット販売サイトへの誘導を行った。

③メディア対応とプレスリリース

市民交流プラザについての取材依頼、パブリシティ（無料）掲載などに対応し、市民交流プラザの認知度を高めるとともに、市民交流プラザ全体で行われる事業や共催事業などのプレスリリースを行い周知やチケット販売促進につなげた。

④その他の広報制作物

市民交流プラザ周辺のにぎわい創出とメンバーズ会員への特典として「創成おさんぼ MAP」や「ホテル グルメ特集」などの広報物を作成した。

（１）「創成おさんぼ MAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、メンバーズ会員向け特典提供店を紹介する地図形式の冊子を 2 万 5 千部発行し、メンバーズ（DM 会員）に送付したほか、協力店舗やプラザ館内各所で配架した。また、利用促進のため、SNS を活用した「#おさんぼ MAP キャンペーン」を実施した。

（２）「ホテル グルメ特集」

「創成おさんぼ MAP」に掲載のホテルについて、メンバーズ会員証の提示で受けられる特典をまとめた「ホテル グルメ特集」を年 3 回発行し、メンバーズ（DM 会員）に送付し、館内各所に配架したほか、メンバーズ（WEB 会員）にはピックアップ情報として定期的にメールマガジンにて発信した。

2 利用促進

①施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、地元興行主との情報交換を密にするほか、「ご存じですか？プラザの貸室いろいろ」を配布して会議や練習での利用を促した。

②会員制度の運営

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を運営し、2024 年 3 月末までに WEB 会員 48,933 人、DM 会員 633 人、計 49,566 人の会員を集めた。

会員向けサービスとしては、以下のものを実施した。

- ・メールマガジン配信（WEB 会員向け。原則 1 ヶ月に 2 回）
- ・ダイレクトメール送付（DM 会員向け。原則奇数月）
- ・hitaru 主催公演等のチケット先行発売
- ・プラザ内カフェ・レストランでの優待
- ・近隣のホテル・飲食店等での各種優待
- ・避難訓練コンサートへの参加（メンバーズ限定）

③協賛制度の運営

札幌文化芸術劇場 hitaru の主催共催事業の充実を目的とする「hitaru オフィシャルスポンサー」制度を運営。

2023 年度のスポンサーとして、法人 103 社、個人 52 人、計 155 件（現金 8,708 万円、広告 2,930 万円相当）の協賛を獲得した。